

# 授業科目 ユニバーサルデザイン

【担当教員名】 東江 由起夫、飯塚 尚、関根 千佳 森山 政与志、松本 明		対象学年 2	対象学科 義肢	開講時期 前期	必修選択 必修
		単位数 1	時間数 30		
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○				
【概要・一般目標：GI0】 共用品、バリアフリー・デザインおよびユニバーサルデザインが出てきた背景を理解し、高齢者・障害者に配慮した設計手法であるガイド71の基本概念を学ぶ。「ユニバーサルデザインとは何か」を理解し、その基本概念の応用について学ぶ。建築と情報の分野のユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインの適用とその事例について学び、適用できる力をつける。演習を行う。専門用語について英語を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 共用品、バリアフリー・デザインおよびユニバーサルデザインが出てきた背景を理解する。 2. ユニバーサルデザインとは何かを習得する。 3. 情報のユニバーサルデザイン、ユビキタス情報社会とユニバーサルデザインを理解する。 4. 建築ならびに住宅改修におけるユニバーサルデザインを理解する。 5. 社会復帰とユニバーサルデザインを理解する。 6. 専門用語について英語を習得する。 7. ユニバーサルデザイン実技を習得する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	UDの背景とGuide71	1,6	講義と質疑応答		
2	建築におけるユニバーサルデザイン	2,6	講義と質疑応答		
3	住宅改修におけるユニバーサルデザイン	3,6	講義と質疑応答		
4	社会復帰とユニバーサルデザイン	3,6	講義と質疑応答		
5	ユニバーサルデザインとは何か	4,6	講義と質疑応答		
6	情報のユニバーサルデザイン	4,6	講義と質疑応答		
7	ユビキタス情報社会とユニバーサルデザイン	5,6	講義と質疑応答		
8	ユニバーサルデザインの本質と構築を邪魔するもの	6,7	講義と質疑応答		
9	特性を理解する重要性和構築の手法	6,7	講義と質疑応答		
10	演習：地域等に見受けられる現状からユニバーサルデザインを考える（全体）	6,7	講義と質疑応答		
11	演習：テーマとニーズの設定（グループまたは個人）	6,7	講義と質疑応答		
12	演習：構築のための手法の確立（グループまたは個人）	6,7	講義と質疑応答		
13	演習：まとめと課題（グループまたは個人）	6,7	講義と質疑応答		
14	演習：発表と総評	6,7	講義と質疑応答		
15	試験	6,7			
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	プリント、板書、ビデオ				
参考書	スローなユビキタスライフ Introduction To Rehabilitation Engineering and Assistive Technology	関根千佳 R. Cooper、H. Ohnabe、 D. A. Hobson	地湧社 Taylor and Francis Press	2005・1,200円	
その他の資料					
【評価方法】 試験結果に出席状況や授業態度を考慮して総合的に評価する。		【履修上の留意点】 問題解決能力だけでなく、課題発見能力にも力をいれるので、積極的に質疑応答に参加すること。			